



平成21年1月30日

各位

会社名 日産化学工業株式会社
 代表者名 取締役社長 木下小次郎
 (コード番号 4021 東証第1部)
 問い合わせ先 経営企画部主席 宮崎 貴生
 (TEL 03-3296-8320)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月28日に公表した平成21年3月期通期連結業績予想および平成20年5月15日に公表した平成21年3月期通期個別業績予想ならびに配当予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	181,000	25,000	25,000	15,800	89円71銭
今回修正予想 (B)	167,000	16,800	16,800	9,600	55円70銭
増減額 (B-A)	△14,000	△8,200	△8,200	△6,200	—
増減率 (%)	△7.7	△32.8	△32.8	△39.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	169,172	24,767	24,446	15,503	85円15銭

(2) 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	132,000	21,300	22,400	14,700	81円77銭
今回修正予想 (B)	118,000	13,900	14,200	8,100	47円00銭
増減額 (B-A)	△14,000	△7,400	△8,200	△6,600	—
増減率 (%)	△10.6	△34.7	△36.6	△44.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	123,936	21,642	21,924	13,927	76円49銭

(3) 修正の理由

米国のサブプライムローン問題による金融市場の混乱を発端に、实体经济は急速に悪化しており、特に電子材料関連市場では、液晶パネルメーカー、半導体メーカーが生産調整を強めると同時に、今後の投資計画についても凍結や延期を打ち出していることから、「サンエバー」、「ARC」など当社主要製品に多大な影響が出てきております。また電子材料以外の製品につきましても、農業化学品、医薬品の販売はほぼ計画通りの進捗状況となっているものの、化学品を中心に需要の減少、市況軟化などから事業環境は厳しさを増しており、平成21年3月期通期連結・個別業績は売上高、利益共に前回発表の予想を下回る見込みであることから、上記の通り修正いたしました。

2. 配当予想の修正

(1) 平成21年3月期配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想（平成20年10月28日発表）	円 銭 12.00	円 銭 12.00	円 銭 24.00
今回修正予想	—	10.00	22.00
当期実績	12.00	—	—
前期実績（平成20年3月期）	10.00	10.00	20.00

(2) 修正の理由

平成21年3月期通期の業績は、前回予想から大幅な減益となる見込みであり、誠に遺憾ではありますが、平成21年3月期期末の配当予想を上記のとおり修正させていただきます。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上